

2005
11
NOVEMBER
No.2



白山市

議 会 だ よ り

【目次】

9月定例会	2
特別委員会の行政視察報告・中間報告	5
常任委員会レポート	6
一般質問	8
編集後記	16



平成17年第3回市議会定例会

白山市の基盤づくりのため 旧8自治体の決算より 10億2,070万円積み立て

一般会計補正予算

増額21億5,127万円

合計518億8,795万円

今定例会で審議した議案は、次のとおりです。

- 補正予算案7件
 - 事件処分案4件
 - 人事案1件
 - 報告4件
 - 決算の認定76件
(決算審査特別委員会で今後審査します)
 - 条例案10件
 - 専決処分の承認1件
 - 議会議案2件
- すべて可決、承認、答申

歳入の主なもの

国庫支出金…………… 6,616万円
県支出金…………… 6,407万円
寄附金…………… 90万円
繰越金…………… 13億3,194万円
市債(借金)…………… 6億4,570万円

歳出の主なもの

○総務費…………… 増額11億1,220万円
財政調整基金への積立…………… 10億2,070万円
土地開発公社への出資金と補助金 …… 3,061万円

白峰地区中心市街地の再整備計画策定の委託 259万円
白山麓地区情報通信基盤の整備として光ファイバー網整備の委託 …………… 1,500万円
男女共同参画推進の計画策定…………… 211万円

○民生費…………… 増額4億9,170万円
精神障害者小規模通所授産施設関連の用地購入と建物への補助…………… 1億8,900万円
白山子育てほっと情報・げんきっ子広場の用地購入…………… 2億6,262万円
蕪城保育所の保育室増築…………… 3,070万円

○衛生費…………… 増額2,207万円
アスベスト分析調査の委託…………… 1,006万円

○農林水産業費…………… 増額2,582万円
水稲直播用機械の導入(JA蝶屋が事業主体) 200万円
土地利用型作物競争力の推進(JA松任へ農業情報システム整備の補助)…………… 252万円

○商工費…………… 増額853万円
首都圏アンテナショップ開設負担金(石川県のアンテナショップ11月にオープン)…………… 103万円
一里野温泉スキー場で山菜を栽培し、観光菜園への可能性を調査…………… 70万円

◎9月定例会概要

白山冬物語2006補助事業（県内外へ市の冬の観光情報を発信）…………… 150万円

○土木費…………… 増額2億9,805万円

あさひ荘苑福増線道路工事のため福増町地内の用地取得…………… 2,836万円

水島町地内にて市道消雪工事の県代行負担金…………… 1,000万円

五歩市成線道路整備として新田町地内の用地取得等…………… 1億4,000万円

美川大浜水源地線道路整備として美川浜町・美川永代町地内の移転補償調査…………… 4,000万円

○消防費…………… 増額156万円

消防サイレン凍結防止ヒーターの修繕（美川地区）…………… 50万円

○教育費…………… 増額1億6,349万円

松任高等学校振興会への補助…………… 129万円

中学校体育連盟と文化連盟に県内外への派遣を補助2,300万円
鳥越中学校プールの建設…………… 9,019万円

新内と車人形の会の公演（11月26日開催）

…………… 200万円

体育施設の改修（松任陸上競技場、鳥越武道館、北辰中学校等）…………… 2,453万円

○災害復旧費…………… 増額2,782万円

6、7月の豪雨による畦畔崩落（鳥越渡津町）と林道の災害復旧（白山ろく5路線）… 2,782万円

◎債務負担行為（年度を越えて行う事業の予定金額）

倉部川改修事業（農道橋架け替え事業 平成18、19年度予定）…………… 1,171万円

千代女の里俳句館建設事業（平成18年度予定）

…………… 1億2,300万円

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計補正予算

増額…………… 1,908万円

合計…………… 82億8,933万円

歳出の主なもの

被保険者に生活習慣病予防を指導…………… 800万円

老人保健特別会計補正予算

増額…………… 100万円

合計…………… 99億4,728万円

歳出の主なもの

福祉給付システムの変更開発業務の委託 100万円

介護保険特別会計補正予算

減額…………… ▲1,566万円

合計…………… 58億0,934万円

歳出の主なもの

介護保険制度改正に伴うシステムの変更業務 2,090万円

介護保険制度改正に伴うサービス給付費の補正▲1億0,950万円

簡易水道事業特別会計補正予算

増額…………… 416万円

合計…………… 4億4,275万円

歳出の主なもの

緊急修繕等…………… 360万円

温泉事業特別会計補正予算

増額…………… 143万円

合計…………… 1億1,890万円

歳出の主なもの

千丈・白峰温泉の維持管理…………… 143万円

下水道事業特別会計補正予算

減額…………… ▲626万円

合計…………… 100億2,266万円

歳出の主なもの

松任地区農業集落排水事業で、1地区不採択となり減額…………… ▲4,638万円

条例案

10件

○手数料条例の一部を改正する条例

・租税特別措置法の改正に伴う改正 **全員賛成**

○松任安楽庵条例の一部を改正する条例

・松任安楽庵の管理を指定管理者に変更 **全員賛成**

○体育施設条例の一部を改正する条例

・条例名の変更、美川相撲場を市直営に変更、河内すこやか広場ほか12施設の管理を指定管理者に変更 **全員賛成**

○市民温泉条例の一部を改正する条例

・めもと岩温泉ラクコウ、白峰温泉白峰・桑島総湯の管理を指定管理者に変更、市民温泉を使用料から利用料金に変更 **全員賛成**

○農林水産加工販売施設条例の一部を改正する条例

・河内地場産業センターを使用料から利用料金に変更、同センターとわか工房の料金規定を改正 **全員賛成**

○農業体験学習施設条例の一部を改正する条例

・白峰農業体験学習施設を使用料から利用料金に変更 **全員賛成**

○観光施設条例の一部を改正する条例

・横町うらら館、獅子吼高原センターを市直営に変更、綿ヶ滝いこいの森キャンプ場、一里野公園施設の管理を指定管理者に変更、パーク獅子吼ほか22施設を使用料から利用料金に変更 **全員賛成**

○観光宿泊施設条例の一部を改正する条例

・ふるさと保養センター清流、白峰温泉御前荘を使用料から利用料金に変更 **全員賛成**

○スキー場施設条例の一部を改正する条例

・鳥越高原大日スキー場、白山二里野温泉スキー場の管理を指定管理者に変更 **全員賛成**

○吉野工芸の里条例の一部を改正する条例

・吉野工芸の里を市直営に変更 **全員賛成**

事件処分案

4件

○白山市土地開発公社定款の変更

・合併協議の合意に基づき、監事を2名に変更、基本財産を1000万円に変更 **全員賛成**

○千代女の里俳句館建設工事の請負契約

・(株)石川ジェイエイ建設と2億8035万円で契約 **全員賛成**

○松任中央浄化センターの建設工事委託に関する基本協定

・日本下水道事業団と26億4300万円で協定 **賛成多数 反対2人**

○辺地に係る総合整備計画の策定

・公共的施設の総合整備のための財政上の法律に基づき、市内辺地(内尾、中宮、左礫・阿手・堂川、尾添・荒谷、東二口)に係る総合整備計画を策定 **全員賛成**

専決処分の承認

1件

○一般会計補正予算に衆議院議員総選挙の費用5133万円を8月9日専決、予算総額497億3999万円

全員賛成

報告

4件

(財)白山市地域振興公社の経営状況

(財)白山市体育施設管理公社の経営状況

(株)セイモア内尾の経営状況

(株)ツウワン白峰の経営状況

以上説明を受けました。

人事案

1件

○人権擁護委員候補者の推薦について諮問

織田 律子さん(白峰)

全員賛成

議会議案

2件

意見書を国へ提出

○道路整備促進に関する意見書

・体系的な道路網の整備、快適な道路環境づくり、災害に強い道路ネットワークの構築そして橋梁の耐震補強の対策を推進せよ。
道路特定財源は、道路整備の強力推進に充てよ。
また、地方の道路財源を確保して地方財政を充実せよ。

提出者 村山一美

賛成多数 反対1人

○「進行性骨髄炎」の難病指定を求める意見書

・早期に「進行性骨髄炎」を特定疾患調査研究対象事業の対象疾患に指定(難病指定)され、研究の促進と早期の治療法発見に尽力せよ。

提出者 林 繁

全員賛成

観光対策特別委員会行政視察報告 (北山 進委員長)

観光対策特別委員会は、8月24日から25日にかけて夏場のスキー場の活性化や、有効利用について、長野県内を視察研修しました。

白馬五竜スキー場は民間会社が経営し、夏場にはウォータースライダーやパラグライダー、山頂付近にはアルプス山野草園が開園されています。運営については来訪者のニーズに合わせて、常に内容を見直し取り組まなければ誘客が難しいとの感想を得ました。なお、スキー場についてはこの他、タングラム斑尾スキー場も視察してきました。

つぎに菅平射撃場ですが、年間約2千人が利用しています。利用者の銃に対する安全確保のための指導も行われており、採算面は黒字経営でした。

近くに別荘地があることから、騒音対策や付近の水質検査を行い、環境面に配慮されていました。

最後に白馬村観光局のマイスター制度について、白馬村

観光局は、村役場からの2名の派遣社員と民間企業からの12名の派遣社員で運営されています。

マイスター制度とは、白馬村の観光案内人が、観光局の組んだ白馬村の自然や特色を活かしたツアーを中心に活動し、白馬村への誘客を進め、民宿や地場施設の活性化につながっています。

白山市においても、このような民間の企業と連携した中で、住民の知恵と活力を取り入れた今後の取り組みも、重要な課題であると痛感しました。



白馬五竜スキー場オフシーズン活用を視察

防災対策特別委員会中間報告 (村本 一則委員長)

災害が発生した場合、災害対策本部と白山石川広域消防本部は綿密な連絡をとり連携し、対応していくことが不可欠と考えられます。現在の広域消防本部は建築後30年経過老朽化し、耐震性がない建物



老朽化した消防本部

であり、通信システムも現況対応には大変に古い通信機器類で構成されています。

住民が安全で安心して暮らせる状況にするために、防災の拠点となる広域消防本部の移転新築が急務ではないかとの結論が、本委員会の調査により明らかとなりました。

本委員会としては、消防・救急機能の強化された都市型

災害に強い本部、市民に開かれた本部、地球環境に配慮した本部、将来計画を見越した本部、関係機関との連携が取れる本部。

以上のことを念頭に置き、以下に示しました内容を網羅し早急に白山石川広域消防本部を建設することを提言いたします。

1. 建物は免震か耐震構造物で検討する
2. 消防署員の訓練施設を備える
3. 消防緊急情報システムを備える
4. 防災教育・啓発が可能な防災センターを備える

以上、防災対策特別委員会の中間報告とします。



更新が望まれる通信システム

常任委員会レポート

総務企画常任委員会

市長車更新

質問 現在の市長車はどれくらい乗っているか。

答え 8年間で11万8000キロメートル走行している。雪道に強い車に替えたい。

白山麓地区情報通信基盤整備事業

質問 白山ろくに光ファイバー網を整備する工事はいつ完成するのか。

答え 平成19年3月までには整備を完了したい。

松任駅周辺文化交流館（千代女の里俳句館）建設工事（建築工事）請負契約

質問 8月25日に入札が実施されてから1カ月経っているが、早く着工しなくても工期は大丈夫か。

答え 議会の議決後に本契約を締結し、工事に取りかかる。工事期間は、余裕を見ながら設定している。

意見 市の入札状況は、随時結果報告が出ているが、議案審査に際しては詳細な資料の提示により十分な説明をされたい。



処理能力が増強される松任中央浄化センター

白山市松任中央浄化センターの建設工事委託に関する基本協定

質問 今回の下水道処理施設増設工事で処理方式を変えるのはなぜか。

答え 下水道法が改正され、水質基準が厳しくなったため、処理効率のよい方式を採用した。

意見 現在は日本下水道事業団へ建設工事を委託しているが、今後は地元企業への委託や専門技術職員の育成についても検討されたい。

文教福祉常任委員会

千代女の里俳句館整備事業

質問 総事業費に占める市の負担分と国や県の負担分を明らかにし、その負担額についても示せ。

答え 8億9000万円の総事業費。そのうち建築費など事業補助対象分は、すべて国と県の負担である。国の補助対象外である用地費や展示にかかる費用は市の負担となる。合併特例債を含めた市の負担額は、2億4000万円余り。

白山市統合小中学校

基本構想検討委員会経費

質問 検討委員会は、吉野谷、尾口、白峰の3地区からの委員で構成されている。他の地域から委員を加える考えはないか。

答え 検討委員会は、あくまでもどのような学校をつくるかを決めるのが目的であり、他の地域から委員を入れる予定はない。また、全国のモデルになるような学校を建設したいと考えており、議会には答申を受けた後、節目ごとに報告したい。

質問 統合校の通学区域に関



建設予定の千代女の里俳句館

しては、鳥越と河内の2地区を加えた5地区で協議してはどうか。

答え 通学区域については、検討委員会でも意見が出ると思う。それらを尊重しながら、教育委員会が責任を持って決めた。できる限り柔軟に対応したい。

指定管理者制度

意見 公募による業者選定を行う場合、市民サービスが後退しないよう、地域開放の障害にならないよう取り組ま

常任委員会レポート

生活経済常任委員会

観光菜園調査委託事業

質問 どのような場所で栽培するのか。また、全国的に例はあるのか。

答え スキー場の活性化策として、スキー場で山菜を栽培し、観光菜園として有効活用できるか可能性を調査するもので、全国的には、近くの富山県立山町のJAアルプス東谷支店で丘陵地を利用し、ウダの栽培をしている例がある。今回、一里野温泉スキー場内のゲレンデではなく山間の4カ所、全体で420坪にウドとワラビを植え調査を行う。今後事業が展開していけば、収穫した物を販売することも可能と考える。



有効活用が検討されるスキー場

林道施設災害復旧事業

質問 林道の災害復旧費の国庫補助率は、どのくらいか。

答え 吉野谷・鳥越・尾口・白峰地域において、6月末の大雨により発生した林道災害の国庫補助事業による復旧については、現在、国に事業採択を申請しているところであり、今後、災害の種類、場所等により補助率が正式に決定される。国庫補助率については、基本的に50パーセントだが、奥地幹線林道は65パーセント、激甚災害に指定の場合は90パーセント近くの補助率となっている。



白木峠線災害被災箇所(白峰地区)

建設企業常任委員会

鶴来支所除雪対策事業

質問 昨年度まで旧辰口町地内で排雪をしていたが、今後変わるのか。

答え 今まで旧鶴来町から天狗橋を渡った手取川河畔の旧辰口町岩本地内で排雪していたが、岩本町内が能美市に使用中の申し出をし、能美市より本市へ正式に申し入れがあった。平成17年度は使用すが、平成18年度からは鶴来水戸町地内の手取川河川敷の十八河原公園横に新たに排雪場を設ける。

簡易水道事業特別会計

増額416万円

- ・歳入 一般会計繰入金
- ・歳出 女原浄水場ろ過機修繕と配水管工事と一里野導水管法面工事、白峰浄水場の水位計交換

下水道事業特別会計

減額626万円

- ・歳入 県支出金の減額一般会計繰入金と市債の発行
- ・歳出 公債元金償還金(借金返済)として、高利(6%以上)から低利(1.95%)へ借り換え債の発行のため

徳光スマートIC社会実験

質問 徳光スマートIC社会実験は本市が多額の費用を負担し続けているが、今後の費用の負担はどうなるのか。また見通しは。

答え 今回の補正は、交通誘導員の人件費である。今後は恒久的に市が負担することはできないと考えている。また、IC専用道路と公園部分道路の区分けと信号機設置の問題もあり今後検討しスマートICの継続を願っている。



排雪場予定地十八河原(じゅうはちがわら)



村本 一則議員

Q 指定管理者制度導入の進捗状況は

A 公募は10月から導入は来年4月の予定

質問 行財政改革大綱を基にした集中改革プランの中、指定管理者制度導入はどこまで検討が進んでいるか。

総務部長 758施設のうち222施設について、指定管理者制度の導入を予定している。公募予定は34施設で、10月から公募し、導入は来年4月を目標としている。

質問 第三セクターや公社で行っている事業について、健全な運営が行えるのか。経営状態が深刻なものは、抜本的に経営改善が必要ではないか。

市長 第三セクターで累積赤字が大きいものは、専門家の意見を聞き対応していきたい。土地開発公社は、5年をめどに経営健全化に努める。地域振興公



健全運営が望まれる2公社

社、体育施設管理公社は、指定管理者制度の導入で、民間企業と対等の条件で競争しうる経営体制の確立をめざす。

質問 市職員定数適正化を踏まえた中、民間業務委託の進捗状況は。

市長 業務の中で、専門性が高く効率的に処理できる分野については、現在も委託している。今後も経費節減を目的とし民間委託を導入したい。

その他の質問

質問 行政評価制度の活用を問う。

企画財政部長 約200件の事前評価を行い、今後途中・事後評価を行い行政改革に有効な活用方法を再検討していく。

質問 実行可能な目標値を明確に掲げた市民と行政の約束制度創設を問う。

市長 職員の意識改革が重要。自治基本条例を検討する中で、検討を加えたい。



安田 竹司議員

Q 適正な土地利用が必要

A 土地利用を見直したい

にするためにも適正な土地利用が必要ではないか。

市長 都市計画マスタープランの方針に基づき土地利用の見直しを行いたい。

墓地公苑の整備計画は

質問 近年の世帯数の増加に伴い、空き区画がほとんどなくなり、ついのおすみかとなる墓地が足りなくなってきた。早急に墓地公苑の建設を。



道路は整備された

質問 美川・鶴来地区の都市計画では、土地利用の区域区分及び用途地域の指定は行っていない。今後白山市全体を利便性の高い、住みよい快適な町

場所・規模を検討中

市民生活部長 市営墓地公苑の中には未使用区画がほとんどない状況である。来年度に向けて新墓地公苑の建設に着手するため、建設場所や規模等を検討している。



墓地は満ぱい



小川 義昭議員

**Q 企業の経営手法の改革と
人材育成を図れ**

**A 目標管理制度を導入し
総合的に取り組む**

質問 住民ニーズに対応し、質の高いサービスを最少数の住民負担で提供することが今日求められている。

より効率的・効果的な自治体運営を行うには、民間企業の経営理念や経営手法を導入すると同時に、

職員の意識改革、能力開発そして幅広い見識を涵養するための人材育成が緊要ではないか。

市長 白山市職員人材育成基本方針を策定し、市全体の目標を達成しようとする組織マネジメントの手法である目標管理制度を来年度から導入したい。これによって、スピード感とコスト意識を持った市民に信頼される職員の育成を図りたい。さらに、「挑戦・改革する

職員」など5つの職員像

なるのか。

を制定し、職員の資質向上のための研修を充実させるとともに、時代の要請に的確に対応した人材育成を推進したい。

質問 都市計画道路金剣通

り線は、白山市役所と市街地商店街・松任駅・松任駅北地区さらには市南部白山ろく地区にもアクセスする交通の大動脈と目されてよい道路である。しかし、道路拡幅工事は一部で用地買収が行われているにもかかわらず、計画が不明のまま、対象となる地権者の方々も非常に不安を感じている。

今後の計画はどう

建設部長 現在、金沢外環状道路および内環状道路の整備を行っている。また白山ろくからのアクセス道路である市道末松徳

光線の平成21年度完成を目指しており、その完成後、金剣通り線の整備を進めていきたい。



拡幅が待たれる金剣通り線



村下 眞次議員

**Q 支所の改革を
今後どう進めるのか**

**A 改革は
当面考えていない**

**支所は5年後10年後
どうなるのか**

質問 今後10年間で200名程度の職員を削減するということだが、現在の7支所はどのように組織改革するのか。

市長 支所においては住民サービスを低下させないための事務を行っている。当面は住民が安心して生活できる支所としての責務の遂行が大切で、組織改革は考えていない。

**緊急車両の
10分以内到着を**

質問 松任、美川、鶴来地区では10分以内に着着するが、白山ろく5地区では10分以上かかることが多い。施設の増強を図れ。

市長 国の消防力の整備指針に基づき、人口や住宅数、防火対象物の数や規模、災害の発生頻度、車着時間の短縮については、今後も努力と検討を重ね、両の配備位置等を考慮しながら、施設の機能や位ことを期待する。



時間短縮が望まれる救急体制



古河 尚訓 議員

Q 学校統廃合・もつと
地元の声を聞き慎重に

A 合併協議会の確認だが
地元の理解を得ていく

質問 合併協議会確認のとおり、今年度より「白山市学校統廃合検討委員会」が設置され、市長への答申案が取りまとめられた。そこでは現尾口小中学校敷地に統合小中学校を建設するとなっている。

重し、地域に適合した、都会の子供も来られるようなモデル校にしたい。

市長 (再質問に答えて) 地元住民の理解の中で進めることは当然。教育委員会や私も地元を運び、説明し理解を求めたい。

質問 旧松任市の議論を受け継ぎ白山市でも「白山市子どもの権利条例検討委員会」が設置されている。条例化は今年度中とのことだが、草案にある事業は前倒ししても進め、予定されている「子ども会議」を実施するものにするべきであるがどうか。

市長 この話は、合併協議の中で山ろくの村長・議長から強く要請があった。今後は地元住民の皆さんが参加する「統合小中学校建設基本構想検討委員会」で機能面や環境面について協議してもらおう。そこでは答申を最大限尊重

市長 今年の子ども会議は松任・美



「子ども権利条例」学習会 先進地小杉町から説明を聞く



小島 文治 議員

Q 「白山インターチェンジ」
設置の可能性を探る

A 設置の実現に向けて
努力する

質問 金沢外環状道路海側幹線が、白山市旭地区周辺において北陸自動車道と交差する。利便性の向上、白山市へのアクセス向上を考え、この交差する地点にIC(インターチェンジ)設置を要望する。見通しを示せ。

末まで継続実施し恒久的設置の実現に努力する。

市長 白山ろくの過疎化を阻止すべく、移り住む人を対象とした助成制度を真剣に考えたい。

市長 「白山インターチェンジ」設置の実現に向け関係団体と連携を図り、本線工事が早期に着工できる体制づくりに取り組むたい。

また徳光パーキングエリアスマートIC社会実験を来年3月



白山インターチェンジ構想



水上 俊明議員

**Q 自主自立の地域経営の
基盤の確立とは**

**A 企業誘致と歳出構造の
見直しを図ること**

質問 市職員に企業的经营感覚を身につけるよう求めることは、法律が定める行政の基本原則以上のものを期待することになるが、それがどの程度なのか、職員は分かるようになったか。

市長 税金を有効に使って付加価値の高い行政サービスを提供したい。施設の場合は、それをつくるのに投入した税金以上の価値が出せるように、多くの市民が利用できる事業に取り組みたい。

質問 税金を有効に使っているかをチェックするため、公共工事等の落札率等を公開せよ。

助役 現在、落札率を公開することは考えていない。

質問 赤字が問題のスキー場に係る観光事業特別会計予算が、企業的经营感覚を持つて編成されているとはとても思えないが。

企画財政部長 施設整備費の縮減に向けた努力をしている。ご理解願いたい。

質問 学校の教育力を見るための最も分りやすい方法は、県の基礎学力調査によつて児童生徒の学力レベルを知ることだ。その結果を平均値で公開せよ。

教育長 それは学校間の比較に使うものではないので公開はしない。

質問 学校統合の対象範囲を白峰・尾口・吉野谷地区に限定せず、河内・鳥越地区も含めて見直すように方針が変わつたはずだ。5地区全体で2小学校・1中学校に絞り込む方が、競争できる環境を整備するためにも、また税金を有効に使つたためにもいい。

市長は、そのように諮問をしなかつたのか。

市長 統合検討委員会へは、合併協議会で決定した、旧吉野谷村・尾口村・白峰村の2小学校・3中学校の枠組みについて諮問している。



河原 秀昭議員

**Q 手取川の濁り水
解消に取り組みを**

**A 白山ろくと手取川の
自然環境保全に努める**

質問 手取川の濁り水解消に積極的に取り組み、元の清流に戻すための運動を白山市が先頭に立つて展開すべきと考えるが、今後の対応はどうか。

市長 国土交通省では、手取川の土砂動態とあわせ

て水の濁りについても注視しており、今後調査・研究を進めることとしている。市としては砂防事業と森林整備の一層の推進を国・県へ要望し、白山ろくと手取川の自然環境の保全に努めていく。



清流が望まれる手取川



クマ出没注意

**熊と共生できる
森林環境整備を問う**

質問 白山市の奥山に広葉樹等の植樹を行い、熊が人里に出没することなく、定住できる環境を整備することを提案する。

市長 人里と熊のすみかの境界をはっきりさせることにより、熊の保護につなげていきたいと考えている。



宮中 郁恵議員

Q 白山市の幼保一元化をどう考えるのか

A 幼・保の特色を生かして一元化を推進する

質問 ライフスタイルが多様化する中、柔軟な保育ニーズへの対応が求められている。保護者の就労状況だけで、子供を幼稚園と保育所に分けていいのか。

幼稚園を利用していない0～2歳児とその保護者への支援が急務となっている。

幼稚園・保育所それぞれの制度でさらに充実させた第三の施設をつくり、きめ細かく対応していくというのが幼保一元化の考え方であり、市長の見解を問う。

市長 実施に当たっては、施設の活用方法、保育サービスの内容、保育料など多くの課題があるが、実際に努力していきたい。

質問 公立幼稚園において職員が残業が著しいと聞く。帰宅が夜の10時を回ることもたびたびで、仕事を家に持ち帰り代休も取れない現状である。職員数の見直しを含めた職場環境の改善を求める。

教育部長 年間行事の準備、障害児の指導援助として研究発表等に懸命に取り組んだ結果が、残業となることがある。

質問 公立幼稚園において職員が残業が著しいと聞く。帰宅が夜の10時を回ることもたびたびで、仕事を家に持ち帰り代休も取れない現状である。職員数の見直しを含めた職場環境の改善を求める。

質問 子育て支援の現状と今後の施策を問う。



感性豊かな子供に

市長 子育て支援として保育所や幼稚園では施設を開放し、また育児相談も行っている。保育サービスについても、乳児保育や延長保育、障害児保育など充実努めている。10月よりマイ保育園登録事業をスタートし、来年度には子育てほっと情報・げんきっ子広場を開設する。



前多 喜良議員

Q 白山市における市外局番、076に統一を

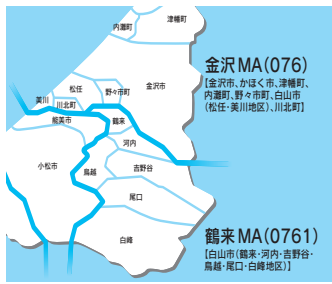
A 同じ市内で局番が違うのは不自然、統一に努力

質問 白山市内における市外局番を076に統一できないか。今年1月のNTT固定電話の基本料金の改定により、プッシュ回線については金沢区域と鶴来区域で同額となった。しかし、通話料金についてはNTTの各種サービスを申し込んでいないと3分8.5円のところ、90秒20円も料金を支払うことになる。よって一日も早い統一を望む。

市長 通話料金については、NTTの「一律プラン」は、NTTの「一律プラン」を申し込むことにより、県内通話料が一律3分8.5円となり、月額料金は解消される。市外局番を統一すると市内局番以下の番号が変更になる。しかし、市内で市外局番が異なることは不自然であり、住民の理解を得た上で同じ局番になるよう努めたい。



鶴来地域町会長理事会で説明



質問 衆議院議員総選挙において、白山ろくの一部

選挙管理委員会委員長 全地区において一律に投票時間を短縮することは、有権者の投票機会を減じるため、慎重に行うべきである。松任、鶴来、美川地区での投票時間の繰り上げについては、今後有権者の投票行動に関する調査を行い、判断したい。



竹田 伸弘議員

Q 全国初(自治体病院)のPETはいつから。

**A 11月24日から
松任石川中央病院で始まる**



清水 芳文議員

Q 白山そばのブランド化、マイスター制度創設を

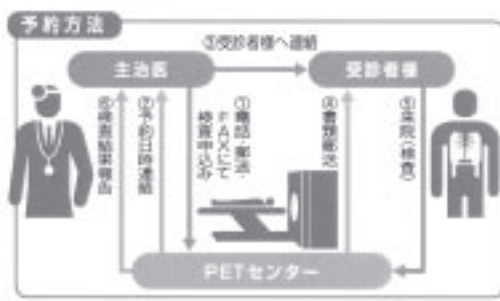
**A 実現に向けて
前向きに検討する**

質問 自治体病院では全国初の取り組みであるPET(ポジトロン・エミッシヨン・トモグラフィ)による検査を多くの市民の皆さんに安価で気軽に利用していただきたい。

ガンの早期発見やガン治療に役立てればと思つが、検査の開始日はいつからか。

市長 11月24日から本格稼働する予定。

質問 検査の予約はいつからか。
市長 もう既に受付している。



質問 PETの検査費用はいくらか。

市長 がンドックの検診で、PETコース(4時間)8万4000円、PET一般検診コース(二泊二日)11万5500円、PET画像診断コース(6時間)12万6000円、PET総合検診コース(二泊二日)16万8000円です。

質問 白山市民は安くならないか。
市長 前向きに検討したい。野々市町・川北町とも協議が必要。

質問 白山ろくで生産されるそばに「白山そば」のブランド名をつけてPRすることを提案する。また「白山そば」を使用する店の認証制度の創設を提案する。

白山市の観光資源と優れたエキスパートを活用する「白山市マイスター制度」の創設を提案する。まずはそばのマイスターを育ててはどうか。

白山ろくのそばと松任・鶴来地区の酒でそば焼酎の製造ができないか。

市長 白山そばのブランド化は非常に賛成だが、実現のためにはそばの栽培面積と供給量に問題がある。

向きに検討する。認証制度については、慎重に検討する。

石川県には「ふるさとの匠活用事業」があるが、白山市独自のマイスター制度の導入に前向きに検討したい。そば焼酎の製造実現には、そばの作付面積の拡大や採算面に十分な検討が必要である。

質問 災害が発生した場合、被害を最小限に食い止めるには何といつても地域住民が連携し、迅速に対応できるかどうかにかかっている。いざというときのために、緊急連絡網の整備と、町内会を中心とした自主防災組織の育成と充実強化を図る必要はないか。

市長 災害時における住民の安否確認を含めた地



白山ろくに広がるそば畑



宮岸 美苗 議員

Q 指定管理者・民間参入で雇用は悪化しないか

A 継続雇用と労基法遵守を条件に雇用安定を図る

質問 民間企業が指定管理者となる施設には、利用者運営委員会など設置すべき。

総務部長 指定管理者には市民ニーズを反映するよう指示する。また、実績報告書の確認など実施する中で、運営委員会の設置は考えていない。

質問 市長・議員の関係企業を指定管理者にすべきではない。

総務部長 法的制約はないので、市はそこまで問わない。

質問 介護保険へのホテルコスト等導入で、利用者の負担は大幅に増える。低所得者の負担軽減措置を対象者個別に知らせるようにつき。

健康福祉部長 負担軽減措置の適否は、ケアプラン作成時に判明するので、ケアマネージャーに協力を求める。

質問 年金額を上回る負担の増加にどう対応するのか。

健康福祉部長 利用者負担段階のより低い基準を適用し、生活保護に移行しない措置を講じていく。

質問 学校統廃合問題は、住民合意を重視すべき。

市長 行政から押しつけた統合ではない。今後、統合小中学校建設基本構想検討委員会の中で、地域の意見が尊重されていくことになる。

質問 建設計画の再検討を。



安心して暮らせる高齢化社会に

質問 水田の陥没が続く。積極的に地下水保全を進めよ。

市長 豊かな地下水を生かし、農工商の調和のとれた町づくりを進める。水田の

陥没と地下水の汲み上げに因果関係はない。地下水の採取許可は、環境審議会で審議している。美川地域が対象の白山市地下水保全に関する条例を全市域対象とすることは、今後環境審議会の意見を踏まえ検討したい。

質問 通学区域の考え方は、柔軟に見直す。

市長 地域の要望があれば

質問 通学区域の考え方は、柔軟に見直す。

市長 地域ごとの要望があれば柔軟に見直す。

市長 地域ごとの要望があれば柔軟に見直す。



藤田 政樹 議員

Q 入所児童数急増地域の保育所整備計画は

A 蕪城小学校跡地に保育所を新設する

質問 都市計画道路五歩市成線及び市全体の都市計画道路の整備時期を示せ。

建設部長 平成20年度までに370メートルを整備し、平成24年度の金沢外環状道路海側幹線への連結に合わせて全線の事業に着手していきたい。

質問 JR在来線の新駅設置について、どう取り組むか。

市長 北安田町、千代野地区住民、白山総合車両基地に勤務する方々など多くの利用者が見込まれ、収益確保の観点からも設置が適当と考え平成18年度からJRと協議に入る。

質問 保育所入所児童数の増加、減少に伴う整備計画を示せ。

市長 北安田、成町土地地区画整理事業が進み、出城

市長 北安田、成町土地地区画整理事業が進み、出城

地区での入所児童数の増加が見込まれるため、今議会でも蕪城保育所の増築に関する補正予算を計上した。また、蕪城小学校の跡地にも保育所の新設を考えている。他の地域でも順次整備していきたい。

質問 保育所の公設民営化について市はどのように考えているか。

市長 多様化する保育ニーズに的確に対応するために経験豊富な法人運営により、地域の信頼を維持していくことが大切、当面は直接管理とす

市長 北安田、成町土地地区画整理事業が進み、出城

市長 北安田、成町土地地区画整理事業が進み、出城

市長 北安田、成町土地地区画整理事業が進み、出城



新しい町並み元気な子供たち



中西 恵造議員

Q 市民が求める
真の構造改革を問う

A 業務の民営化、徹底した
事業の見直し断行

質問 私たちは市町村合併の中で改革を断行し、行政のスリム化を図った。しかし市民は、さらなる改革を求めている。



歩道の建設が待たれる通学路

市長 これまで県が単独でこの通学路の事業をやってきたが、なくなり苦しいものがある。しかし、安全な歩道空間の確保は大切で今後も努力していく。

通学路の安全を求める

うべき事項があると思うが。

市長 平成18年度予算編成

においては、事務事業の徹底した見直しと効率的な行財政運営を図る。地域の発展に真に必要なものは、的確に判断していく。職員の創意工夫や財源の確保など、効果が上がるどころへは重点的な予算配分を検討する。

質問 毎日通う通学路が、

安全安心の中で通える道となるよう市全体としての方向性を示し、また調査改善している姿勢と取り組みについて問う。

通学路の安全確保は

大変重要な課題で同感だ



危険な通学路

建設部長 蝶屋小学校周辺は、除雪路線になっているが、消雪されたり歩車道分離が進めば、より安全な通学路になっていくと思う。



高川 篤文議員

Q 集落営農をどのように
推進するのか

A 法人化に向け経営体の
基盤強化に誘導

後継者対策

質問 担い手農家の多くが高齢化している。今後の計画では認定農家をどう指導し、後継者対策をどう行つのか。

市長 県や農業者団体と連携しながら、経営分析や経営管理指導を進め、新技術の導入に向けた相談業務のほか、認定基準を見直すなど生産から経営改善までを行い、農業後継者の活動支援を含めた支援体制の充実を図りたい。

また平成19年度導入が予定されている農業者団体・大規模農家による主体的な米の生産目標の設定、品目横断的な直接支払い制度など、今後国の動向も注視していく。

集落営農対策

質問 白山市の集落営農組織は41あり、そのほとんどが29戸以下、耕地面積30ヘクタール未満の小規模集落営農である。大規模集落営農が進んでいないが、この集落営農形態の法人化の推進と大規模集落を初めとする小規模農家や兼業農家の組織化について、どのように指導し進めていくのか。

市長 組織が活動している地区では、法人化に向けた経営体の基盤強化へと誘導したい。また、その他担い手のいない地区では集落営農の啓蒙、支援を図りたい。

図りたい。

グリーンツーリズムの
取り組み

質問 観光と連携したグリーンツーリズムに取り組むことで、地域産業は活性化し、自然や伝統文化とも触れ合える。都市と農村の共生、交流を図るためにも補助制度を導入し、交流人口をふやすべく取り組んではどうか。

産業部長 豊かな環境資源を活かし、都市と農村の交流を行い地域住民の協力を得ながら、今後鋭意検討したい。



大豆の収穫

得ながら、今後鋭意検討したい。

傍聴された方に「ご意見をお聞きしました。」

● 広報で知る議会内容と生の市長の声が聞けると同時に担当部長の政策方針について具体性があり、身近に感じられた。(60代、女性)

● 傍聴するつもりで同じ市民としてずいぶんと情報量や問題意識が違ってくるものだと思います。議事録を読むより傍聴した方が、はるかにわかりやすかったです。(40代)

● 思ったより聞きやすく、以前より議会が少し身近に感じられた。(40代)

● 行政の施策がわかりやすく説明された。傍聴してよかったと思います。合併したことで広域になり、なかなか自分のこととして実感できなかった。白山山間部のことを知るよい機会になった。(50代)

● 議長から「市長」と呼ばれて「はい、議長」とお返事される角市長の態度にいつもすがすが

しさを覚えます。各市議もいがかしら。(70代、女性)

● 質問者の質問が長く感じました。もう少し簡略にして本当に質問したいことをしぼられたらと思います。議場はとも落ち着いた照明と広さでよい感じでした。(50代)

● 一般質問の議員で早口で言葉が聞き取れない人がいた。わかりやすく話してほしい。(60代、女性)

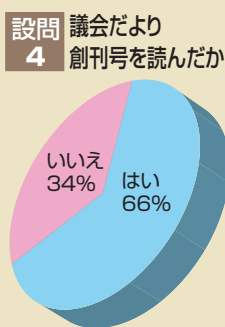
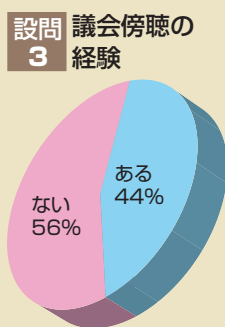
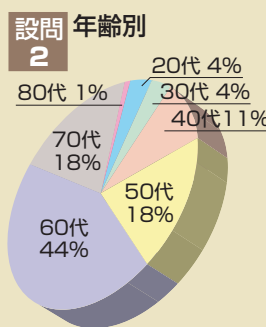
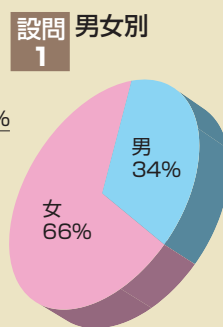
● これからは議会だよりを興味を持ってしっかりと読みたいと思ひ勉強もしていきたい。自分のためにもまたうかがいたいです。(60代、女性)

● もう一度来てみたい。市民を重視し税金の無駄遣いをやめ市民のための市政をするということに感銘。(60代)

● 質疑、応答の話がかたい。小池大臣が提案したクールビズなど新しい発想、地域にあった

運営方法など考えて見られたらどうか。(50代、女性)

議会傍聴アンケート調査結果
アンケート調査実施日平成17年9月20日、21日
(第1回市議会例会会場懇話会)
アンケート調査対象人数155名



一般質問(9月20日、21日に開催)を傍聴された方から感想を頂きました。その中からいくつかを紹介いたします。

編集後記

「白山市議会だより」第2号をお届けします。創刊号につきましてはおかげ様で多くの評価の声を頂きました。編集委員一同これを励みによりいっそう努力いたします。

さて、市町村合併からはや7カ月が経過いたしました。議会では白山市の一体化に向けた議論が中心となっており、旧市町村の文化や伝統の良さを失わず、一方では様々な行政サービスに格差が生まれないようにしなければなりません。

この議会だよりが、私たちのそうした想いを市民の皆様に伝える手だてとなることを願うばかりです。ぜひ、議員にも率直な声をお届けいただければ、今後とも議会活動、議会だよりに反映していきたいと思ひます。(編集委員一同)

編集委員会

- 委員長 中西 恵造
- 副委員長 古河 尚訓
- 委員 清水 芳文
- 委員 寺越 和洋
- 委員 村本 一則
- 委員 南 清人

